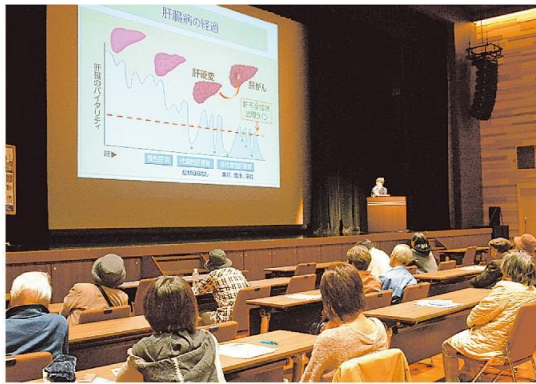


病気や食生活 市民ら学ぶ

岡山大が初 まちなかキャンパス



買い物客らが岡山大の研究や知識を学んだ「まちなかキャンパス」

おかやま未来ホールで「と呼び掛けた。開かれ、買い物客らが米ハワイの文化、ス病気やよりよい食生活ポーツ選手の腸内細菌について学んだ。をテーマにした講演も

岡山大病院消化器内科の池田房雄助教は肝女性客らが関心のある疾患をテーマに話し、テーマに耳を傾けた。

(水嶋佑香)

アルコールを1日40g摂取する人は肝がんになる確率が4・36倍になると説明。「1日の適度なアルコール量はビールだと中瓶1本程度。病気があれば、酒を飲んだ分だけ進行すると考えてほしい」と話した。

同病院臨床栄養部の長谷川祐子副部長は食生活について講義。高血圧の人は1日の摂取食塩量6g未満を目標に、漬物や汁物は控えるといった注意事項を紹介し「食生活の改善

岡山大の研究や知識を市民に知ってもらう初の「まちなかキャンパス」(同大主催)が24日、岡山市北区下石井のイオンモール岡山

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。